

まちかどぶらっとコンサート

ギターとフルート

のタベ in 願得寺

～被災地復興に思いを馳せて～

アヴェ・マリア (F. シューベルト)

G線上のアリア (J.S. バッハ)

トルコ行進曲 (W. モーツァルト)

カッチーニのアヴェ・マリア (V. ヴァヴィロフ)

ニューシネマパラダイス (E. モリコーネ)



ラルゴ (G.F. ヘンデル)

ハバネラ形式の小品 (M. ラヴェル)

リベル・タンゴ (A. ピアソラ)

他

Flute/ 山村 有佳里

Guitar/ 亀井 貴幸

2014年11月9日(日)

時間：15:00～16:30

場所：願得寺 *大阪府門真市御堂町8-23

料金：2,000円 *お茶&お菓子付

主催：まちかどぶらっと

交流会

*定員30名先着順

時間：18:00～20:00

場所：シャン・ドゥ・パン *ポケットアベニュー

料金：3,500円 *飲み放題付

お問合せ・ご予約：partner-ship@softbank.ne.jp (神戸)



光明山願得寺 (がんとくじ)

真宗大谷派の寺院で、永禄年間(1558～1570)に蓮如の子・実悟が当地に創建しました。建物の多くは17世紀につくられ、玄関・書院・客間・太鼓楼は国の登録有形文化財に、また本堂・鐘楼・山門は大阪府の指定有形文化財に指定されており、往時の威容を偲ぶことができます。

本堂の南側には墓地があり、大正末期から昭和初期にかけて外務大臣として平和外交を推進し、終戦後の昭和20年、第44代総理大臣として就任した、幣原喜重郎を輩出した幣原家の累代の墓と父・新治郎の墓があります。

福島県の縄文土器展示 (レプリカ)



日本では1万6千年前から土器が作られ、どんぐりや栃の実などが食べられるようになり、おかげで定住することができ、生活にもゆとりができました。ゆとりは心を豊かにします。ゆとりを手に入れた縄文人は、土器に過剰なまでの装飾を施すようになります。

現在の福島県にも縄文人が住み、独自の土器を生み出してきました。私は、何千年も先の子孫に何を残せるのだろうか？と考えながら土器のレプリカを作ってきました。しかし縄文人が駆け巡った福島の土地を私たちの時代に住めなくしてしまいました。

縄文人の技と美的センスに思いを馳せて見ていただければ幸いです。

作者：酒井 則行

東日本大震災パネル展



震災当時、小学校PTA会長をしていた関係で震災後1年目に福島県を訪れる機会を得ました。そこで目にしたことを一人でも多くの人に伝えなくては…という思いから作成したパネルです。

パネルには、震災後1年目の被災地(宮城県・福島県)の様子。2年後、原発の影響で町ごと避難している双葉郡大熊町の小学校での子ども達や保護者、先生方の“生の声”。そして震災3年後の現地の様子を展示しています。

なかなか復興の進まない現状や被災者の方へ、少しでも想いを馳せてもらえたら、と思います。

展示者：川村 早余子

11月9日

14:00 受付開始

14:30 幣原喜重郎 (しへはらきじゅうろう) 墓参り ※希望者のみ

⋮

15:00 ごあいさつ：奥田 赴 まちかどぶらっと代表者

⋮

第一部 開演

15:30 被災地の人々との出会い

⋮

解説：川村 早余子

15:40 休憩

15:50 第二部 開演

⋮

16:30 終了 (予定)



18:00 交流会 開始 シャン・ドゥ・パンにて (要事前予約)

「かどま」「まち」「プラットホーム」- まちかどぶらっと -



「門真市内の町屋を使って、外観の良さは残しつつ内部を改装し、いい音楽と美味しいコーヒーを味わっていただけるとともに、地域のネットワークを繋ぐための“技”を持っている人が集まれるような店舗にしたい…」ある人の思いを耳にしたことが発端となり、農工商連携を視野に入れたコミュニティビジネスとして、年齢、職業、国籍、立場の違いを乗り越え、地域のプラットホームとしての役割を持たせることのできる空間、新たなビジネスチャンスをも生み出せるような店舗が可能ではないかと考えました。

夢を形にしたいと、4年前、この会を立ち上げ、回を重ねる毎に、教育コーディネーター、現元の教員、大学生、育児カウンセラー、教育アドバイザー、マスコミ関係者、市職員など、立場の違いを超えた様々な方々の参加を得ました。地域の中で熱い思いを持っている方々や問題意識を持って活動されている方々同士の出会いと、意見交換をはかることで、よりよい門真を創るための思いを共有することを当面の目的として活動していきたいと思っています。



会場には駐車スペースはありません。お越しの際はできる限り公共交通機関をご利用ください。